

議会だより

こゝろた

124号

2007年5月1日発行



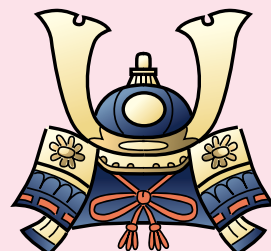
花よりだんご（幸田文化公園）

2 乳幼児医療無料化 小学校3年生まで

4 どう活かす 123億9,650万円（新年度予算）

8 「妊婦無料健診の回数拡大を」など6人が一般質問

16 わが町を思う「癒^{いや}される町」



第5次総合計画の実現めざして 新年度予算がスタート

乳幼児医療無料化 小学校3年生まで拡大など

2億5,567万円

3月定例会は、3月2日に招集され、3月27日までの26日間の会期で開催されました。

定例会初日は、町長が新年度予算の概要と施政方針「住みよいまち、住みたくなるまち幸田、将来の発展と安心の創造をめざして」と、町政の基本的な考え方を表明しました。

19年度9会計の当初予算をはじめ、18年度補正予算、幸田町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正など、37件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

その他、陳情3件を審議しましたが、3件とも不採択としました。

議員提出議案として、議会委員会条例の一部改正など、2件が提出され可決しました。

19年度予算審議は予算特別委員会を設置して、2日間かけ集中審議し、すべて可決しました。

一般質問では、6議員が町政全般にわたって厳しく問いました。

◎安全・安心な都市基盤

◎多様な産業振興

◎健全な行財政・行革

◎地域文化・人づくり・教育

◎健康・福祉

◎環境と調和



わが子の成長を願う

予算の概要

セーフティステーションを 鷺田地区に設置

安全・安心
対策

予算の規模は、一般会計と特別会計など合わせて、213億6264万円、平成18年度当初予算に比べ6.1%増となりました。

一般会計は、総額123億9650万円で、前年度に比べ6.5%増額、特別会計は土地取得、農業集落排水事業が減額、その他の会計は増額となりました。

なお、今年度から、通所介護サービスがなくなり、幸田駅前土地区画整理事業が新設されました。

歳入

町税は定率減税の廃止、税源移譲の本格化などによる町民税増、自動車関連企業などの業績好調の維持、タバコ税増などを見込み、前年度比8.7%増の8億68

歳出

20万円が計上されました。地方譲与税は「三位一体の改革」で廃止となり1億5000万円減、自動車重量譲与税などは前年度同額と見込み、国庫支出金は児童手当の3歳未満児へ5000円加算ならびに、支給対象者の増などにより、5億6657万円で3.8%増となりました。

町債は幸田中央公園整備事業用地買戻しのため、1億円が計上されました。

普通建設事業の主なものは、セーフティステーション設置、幸田駅エレベーター等設置、コミュニティホーム建設補助、学校校舎耐震補強工事、学校校舎大規模工事、大日蔭運動場用地購入など、総額23億535万円となりました。

主な歳出費用

総務費

・セーフティステーション建設工事 1100万円
・幸田駅バリアフリー対応負担金 5700万円

民生費

・後期高齢者医療事業 6009万円
・乳幼児医療費無料化拡大小学校3年生まで 1億5096万円
・福祉巡回バス2台更新 1400万円
・児童手当3歳未満一律1万円 1億1040万円

衛生費

・ISO14001認証取得委託料 157万円
・墓園整備構想委託料 200万円

農林水産業費

・ふれあい農園開設 22万円

土木費

・農村振興総合整備事業 2億8000万円

・道路新設改良事業 1億4327万円

・幸田駅前土地区画整理特別会計繰出事業 1億2351万円

・(仮)相見駅周辺開発整備事業 2億6135万円

消防費

・災害対策一般事業 3176万円

教育費

・幸田小学校整備事業 503万円
・給食センター整備事業 1015万円

公債費

・町債元金償還事業 9億2507万円

■19年度各会計の予算額

(▲は減)

会 計 名			予算額	前年度比(%)	採決の状況
一 般 会 計			123億9,650万円	6.5	反対2・賛成19で可決
特 別 会 計	土 地 取 得 特 別 会 計		4億5,036万円	▲ 9.5	全員賛成で可決
	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		26億4,298万円	6.8	反対2・賛成19で可決
	老 人 保 健 特 別 会 計		19億5,653万円	0	反対2・賛成19で可決
	介 護 保 険 特 別 会 計		11億1,194万円	3.5	反対2・賛成19で可決
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計		2億5,196万円	皆増	全員賛成で可決
	農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計		3億6,734万円	▲ 2.8	反対2・賛成19で可決
	下 水 道 事 業 特 別 会 計		9億9,134万円	▲ 8.0	反対2・賛成19で可決
企 業 会 計	水道事業 会 計	収 益 的 支 出	6億8,770万円	6.5	反対2・賛成19で可決
		資 本 的 支 出	5億 599万円	32.2	
合 計			213億6,264万円	6.1	

徹底検証 どう活かす

123億9,650万円

予算特別委員会

町税8.7%の増収

88億6,820万円

—— 新年度予算審議から ——

19年度予算案は、予算特別委員会に付託され、
2日間にわたり慎重審議の結果可決しました。

ごみ袋(小)の
新設を

Q ごみ袋が高すぎる。引き下げを考えているか。

A ごみ処理場のない事情を理解してほしい。値上げはごみ減量化の啓発と処理費の補てんにあてる。

Q 分別意識が徹底され、生ごみ量が減少してきているので、ごみ袋(18ℓの新設を。

A 早急に実施したい。

Q 可燃ごみ収集業者は、なぜ一社なのか。

A 他に適切な業者がないと判断している。

図書館に
授乳室を

Q 新年度から図書館の利用時間が増えるが、授乳室はできるか。

A 2人分を新設する。

Q 4月22日に行われる全国学力一斉テストは学校間および個人の競争に拍車をかけないか。

A 知識、学力を知ることが必要なこと。学習手段も検証できる。



小さい袋が欲しい

乳幼児医療費は 小学3年まで無料

Q 無料化になる対象者数は。

A 対象者は約1140人。児童手当の乳幼児加算の拡大はどれだけか。

A 第1子・第2子3歳未満児に5000円を加算。

Q 幸田保育園駐車場の舗装を透水性にする考えは。

A 普通舗装でおこなう。

Q 放課後子ども教室はいつから実施するか。

A 19年度中に実施。対象は6年生まで。

Q 住民広場の剪定は地元管理か。

A 大木以外は地元管理で。小学校に設置されるAEDはどのようなものか。

A 各小学校に設置するが小児用バットを用いたもの。

Q 夏場は暑いので、教室に扇風機の設置を。

A 幸田中は一部に平成18年度取りつけた。今年度予算では考えていない。

Q 文化財保護事業で本光

寺の「日暮屏風」を修理したと聞くが。

A 3点の掛軸の寄託を受けた。10年間町の所蔵品として取扱っていく。

Q 文化財の取扱いはい所在を明確にすべきであり、なぜ、寄贈にならなかったか。

A 幸田町で寄託をお願いし、契約書をかわしている。

巡回バスは中型から マイクロに変更

Q なぜ、巡回バスは小型化するのか。

A 利用者が少なく、地域の中にまで入るには小型車が適していると判断。

Q シルバーカーの利用を考えて欲しい。



中央のバスと同型に更新される

A シルバーカーの積載は大型化となる。バス利用は色々なケースがあり、少しずつ改善していき

Q 中学2年生の体験学習は子どもに良い刺激と

A 墓地区画構想は。PRしていく。

なっている。農業体験をPRして頂きたい。

A 墓地区画構想は。PRしていく。

A 年内に候補地を決定し来年度建設の方向でいく。

反対

丸山千代子議員

三位一体改革による税源移譲、定率減税廃止の影響は1万7377人におよび、住民税増税は国保税、介護保険料、さらに保育料の負担増で住民生活を圧迫する。大企業に適正課税の実施で自主財源を確保すべきである。

住民を戦時体制にまきこむ国民保護計画。75歳以上の後期高齢者医療による負担増。農家切り捨ての品目横断的経営安定対策。学校の序列化、競争に追いつける全国一斉学力テスト参加など、住民のくらし、福祉、教育が脅かされている。国の悪政の防波堤となり地方自治を守るべきと主張し反対するものである。

賛成

杉浦 務議員

町民の願う住み良いまち、住みよくなるまち、安全で安心して住めるまち幸田の実現に向けた積極的な予算を評価する。歳入では町税総額88億6820万円、前年対比8.7%増を見込まれた。

歳出では、学校・集会施設の耐震工事、セーフティステーションの設置、幸田駅前再開発、新駅の誘致、道の駅実施設計、ふれあい農園の開設、小学校3年まで医療費無料化、小学校の増築設計・大規模改造等各般にわたるバランス良く、前向きな政策がおり込まれており、賛成の立場を明確にする。

討論

条例改正

3月議会では、乳幼児医療費の助成の条例改正を含む18議案を審議し可決しました。
主なものをお知らせします。



今日から1年生

**4月1日から
小学校3年生まで
医療費が無料に**

助成の対象を「未就学児」から「小学校3年生まで」に拡大します。
(全員賛成で可決)

**消防職員の
特殊勤務手当を
改正**

消防職員に支給する特殊勤務手当が、給料の二重払いであると改善を受け、月額支給から出勤回数支払いに改めます。

Q 月額支給から回数支給になる影響は。

A 現在46名に支給しているが、36名が減額の対象になり、日勤者は年間3万3000円の減額になる。

Q 年間、どのくらいの影響額か。

A 全体で71万円ほど減額になる。
(全員賛成で可決)

**心身障害者
医療費
通院も助成**

Q 精神障害者の入院外の医療費を全疾病助成し、10月1日から実施します。
対象者、該当件数、年

■入院外に関する医療費

	改正後		改正前	
	自立支援医療（精神通院医療）		自立支援医療（精神通院医療）	
	1・2級手帳保持者	1・2級手帳なし	1・2級手帳保持者	1・2級手帳なし
精神疾患	○	○	○	○
精神疾患以外	○	×	×	×

○＝助成対象

×＝助成対象外

A 72人が対象になり、年間1800件、648万円を見込んでいます。
(全員賛成で可決)

**国民健康保険
税条例の
改正**

介護納付金課税額の限度額を、8万円から9万円に引き上げます。

Q なぜ限度額を引き上げるのか。
A 介護保険の利用者が増え、伸び率が160%になった。不足分を引き上げる。

Q 加入者の影響世帯数は
A 178世帯で、150万円の増収を見込む。
(反対2賛成19で可決)

議員提出議案

**幸田町議会
委員会条例
の一部改正**

**幸田町議会
会議規則の
一部改正**

議員定数が16人になり、常任委員会の委員定数、所管等の変更をおこなう。
(全員賛成で可決)

委員会が、議案を提出する時の規則を定め、議会運営を円滑におこなう必要がある。
(全員賛成で可決)

**監査委員に
鴨下登さんを選任**



任期満了にともない、鴨下登さん（大草）の選任が提案され、これに同意しました。

平成18年度 最終補正予算

会計年度も終わりに近づき、予算の追加や減額など一般会計、特別会計合わせて10議案が上程されました。

一般会計の歳入は、町税3億円、繰入金1700万円、諸収入900万円の増額のほか、国・県支出金の増減がおこなわれました。歳出では、放課後児童対策事業130万円、市場公民館屋上防水工事360万円、都市施設整備基金積立金1億110万円、財政調整基金積立金2億8119万円の増額、道の駅造成工事費3000万円、私立幼稚園就園奨励費補助金500万円、学校給食費委託料800万円等の減額など、各事業の最終見込みによる調整がおこなわれ、特別会計への繰り入れ、繰り出しが主なものとなりました。特別会計では、土地取得会計の土地売却収入1714万円の増額、介護保険会計保健給付費4075万円、下水道事業会計事業費945万円の減額などがおこなわれました。水道事業会計は、収益的収入・支出の増額補正となりました。各会計とも、予算の調整が主なものであり、いずれも原案どおり可決しました。

審議された他の議案

- 幸田町固定資産評価員の選任について
(反対2賛成19で同意)
- 平成18年度西三河二市五町交通災害共済組合決算認定について
(全員賛成で認定)
- 字の区域の変更について
(全員賛成で可決)
- 幸田町副町長定数条例の制定について
(全員賛成で可決)
- 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
(全員賛成で可決)
- 幸田町職員の給与に関する条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町職員等の旅費支給条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 愛知県市町村職員退職手当組合理約の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当に関する条例の一部改正について
(反対2賛成19で可決)
- 幸田町手数料徴収条例の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 幸田町通所介護サービス事業特別会計設置に関する条例の廃止について
(全員賛成で可決)
- 蒲郡市幸田町衛生組合理約の一部改正について
(全員賛成で可決)
- 町道路線の認定及び廃止について
(全員賛成で可決)

陳 情

- 上下水道管敷設についての陳情書
(反対18賛成3で不採択)
- 「リハビリテーションの日数制限撤廃を求める意見書」の提出に関する陳情書
(反対17賛成4で不採択)
- トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書の提出について
(反対15賛成6で不採択)

18年度 3月補正

会 計 名			補 正 額	補正後の額
一 般 会 計			3億 462万円	124億2,635万円
特 別 会 計	土 地 取 得 会 計		1,764万円	4億6,331万円
	国 民 健 康 保 険 会 計		▲ 7,670万円	25億1,774万円
	介 護 保 険 会 計		▲ 4,982万円	10億4,731万円
	通所介護サービス会計		0円	1,180万円
	幸田駅前土地地区画会計		▲ 200万円	1億 239万円
	農業集落排水事業会計		0円	3億7,907万円
	下 水 道 事 業 会 計		▲ 945万円	10億7,591万円
企 業 会 計	水道事業会計	収 益 的 収 入	2,703万円	6億8,424万円
		収 益 的 支 出	367万円	6億4,938万円

幸田町・幸田相見特定土地画整理組合および東海旅客鉄道株式会社（JR東海）と「新駅等設置の計画協議推進に関する覚書」を、平成19年3月1日に締結。地質調査や駅舎の概略設計などの調査設計負担金をJR東海に支払うことになりました。

(反対2賛成19で可決)

(仮称)相見駅設置
調査設計負担金
5250万円の
補正予算

追加上程

町づくりの考えは？

ここが聞きたい

Q & A

既往新興住宅地の環境整備を

関係者の理解を求めて努力する



羽根 渉保博 議員

問 南川後地区をはじめとする幸田小学校の周辺地域は、集落の幹線道路や側溝などの住環境整備に極端な立ち後れがあり、計画的な改善策が必要である。

(1) 消防など緊急車両の進入できない箇所も多数あるが、その現状認識と改善策は。

(2) 大草と岩堀・鷺田の行政境界の問題解決、属地主義徹底の考えは。

(3) 町有地にある大草郵便

局の駐車場は混雑時の路上駐車など、交通安全の問題が大変懸念される。幸田小学校駐車場の開放その他の改善策は。

町長 (1) 南川後一帯の問題は大変懸念をしている。非常に難しい問題であるが区長をはじめ、地元関係者の協力・理解を求めるよう努力したい。

総務部次長 (2) 区長会で協議をした経過もあるが結論には至っていない。属地主義の原則を曖昧にすると、将来の行政運営に問題を残すことになるので、関係住民の方々には、粘り強く理解を求めている。

町長 (3) 交通安全上の問題に留意して、移転を含め改善に努力をしていく。

農業用水路に
集水施設を

問 平成18年の消防統計によれば、建物火災が9件発生し、合計損害額は約9500万円と、近年にない大きな災害が発生している。

(1) 消火栓・防火用水の設置の現状は。

(2) ため池や水量の多い河川・排水路は、防火用水・消火栓に比べて、大変優れた消防水利である。その位置づけはマニュアル類で明確になっているか。

(3) 農業用水のパイプラインや排水路に集水施設を設置する消防水利強化策への対応は。

自然水利の
管理に十分
配慮する

消防長 (1) 平成18年度は、防火水槽1基、消火栓4基を設置し、その総数は、防火水槽196基、消火栓383基となっており、町内各地域のバランスを考慮し、計画・設置を進



整備がたれる道路

めていく。

(2) 消防水利規定には、定めていないが消防水利台帳に、60カ所を確保して年2回の治水調査を実施し、災害時に備えている。

(3) 農業用水利施設の緊急時の活用は、渇水期の冬場対応や集水ビットの設置などに問題もあるので土地改良区その他の関係部署と協議をしたい。



成瀬克己 議員

自治基本条例制定と職員教育を 条例制定は今後の課題とする



朝タラッシュの道路

問 地方分権の進展により、決められたルールの上での行政運営から、自らの意志でおこなう真の地方自治の推進が重要になってきた。以下を問う。

(1) 自治体の最高法規である自治基本条例の制定が不可欠で、その検討の時期に来ていると思う。制定の考えと、概略スケジュールは。

(2) 自治体の自立という点で、町の将来を見据えた

政策立案ができる職員の育成が必要である。

先進的自治体や、優秀な民間企業への一定期間の出向も含め、その考えは。

町長 (1) 平成12年4月に地方分権一括法が施行され、市町村に独自性・自律性を持つ地方政府の地位が与えられることになった。

この基本的なルールとなるのが自治基本条例であるが、近隣市町には事例はなく、行政・議会および関係住民の皆さんを巻き込んで取り組むことでもあり、今後の課題としたい。

助役 (2) 職員研修は、人材育成計画に基づき実施しているが、政策課題研修などにも、積極的に参加し資質向上に努めたい。

問 (1) 須美福岡線のバイパス機能を持つ都市計画道路 野場福岡線の県予算は近年ゼロである。県への陳情も大事であるが、岡崎市との連携が更に重要と思う。今後どうするのか。

(2) 大井池改修で県道生平幸田線が長期間通行止めとなるが、迂回路は長嶺のフタバ産業前の道路を予定。この道路は現在で

道路行政
これを
どうするのか

町長 (1) 野場福岡線は、国道23号の開通により、須美インターから岡崎へアクセスする重要な路線でもある。

町内の用地買収は、約80%完了しているが、広田川以北の岡崎地内は実設計が未着手の状況であり、引き続き岡崎市はじめ関係者との調整・協議に努力していきたい。

(2) 生平幸田線は、すでに県が調査測量に着手する段階にある。

大井池の改修工事に合わせた周辺道路などの暫定整備は、非常に困難であると思われる。

重要路線の
整備に引き
続き努力

も朝夕はラッシュ状況にあり、渋滞に拍車がかかる。これをどう認識しているか。

大井池周辺林道、または林道久保田金谷線を暫定整備する考えはないか。

妊産婦無料健診の回数拡大を

10月から無料健診を7回に拡大



水野千代子 議員

問 本町では、母子健康手帳に2回分の無料健診票がついており、それ以外の健診は、保険適用がないため全額自己負担となる。

厚生労働省の通達では、妊産婦健康診査は妊娠初期から分娩まで14回程度の受診が望ましい回数と示され、「無料健診5回を基準」としている。

若い夫婦の子育て支援として、妊産婦無料健診の回数拡大と、県外に里帰りをする女性のために、県外受診も償還払いでの助成を提案する。

福祉部長 平成17年度の無料健診受診率は、1回目97%、2回目92%で、費用の全額約510万円が町負担となっている。

厚生省の通達もあり、19年度10月から、無料健診を

7回に拡大実施する。県外での受診は、医療機関との契約がされていないため、健診の内容などの

チェックも含め、補助金で返すのか、今後検討していく。



パパもいっしょうけんめい

**町立図書館で
破損本の
展示を**

問 図書館の資料は住民の大切な財産である。一部のマナーの悪さから、本の貸し出し時、傍線やマークが書き込まれたり、ページを切り取られるなど、破損本があると聞く。

利用者のマナー向上を呼びかけるために「本が泣いています」と破損本などの展示を提案し、以下を問う。

- (1) 貸し出しにともなう傷みで破棄される本は、年間何冊か。
- (2) 故意と見られる破損本の状態と冊数は。
- (3) 破損・紛失を申し出た対処方法は。
- (4) 利用者マナー向上のために啓発の展示を。

**展示は
考えていない**

教育部長 (1) 平成18年度実績で、一般書26冊、児童書64冊、ビデオなどの視聴覚資料も合わせ約200点である。

(2) 雑誌類の中にある懸賞やクーポンなどの応募券の切り取りが年間約15冊で、故意による破損は1件である。

(3) 届出書に記入し、弁償は現物が現金弁償であり届けは月平均約7件、弁償は年間約17件である。

(4) チラシ、ホームページで積極的にマナー向上を呼びかけていく。展示は考えていない。



丸山千代子 議員

安心して産み育てられる支援を 前向きに取り組んでいく

問 子育ては妊娠から始まり、安心して産み育てられる環境づくりが求められている。

子育て支援充実のため、以下を問う。

- (1) 不妊治療費補助（現行3万円）の引き上げ。
- (2) 厚生労働省は「妊婦健診の公費負担は14回程度おこなわれることが望ましい」とし、5回は原則と通達した。妊婦無料健診の回数拡大を。
- (3) 相談窓口、イスやベビーカーなど育児コーナーの設置を。
- (4) 子育て情報のホームページの充実を。

福祉部長

(1) 制度をスタートしたところであり、今後状況をみて判断していく。

- (2) 国からの通達もあり、10月から妊婦無料健診を7回に拡大する。
- (3) ベビーカーを玄関に配置して、庁舎内どこに移動しても、母親の目が届くようにする。
- (4) 子育て支援のホームページを充実するため、前向きに取り組んでいく。

自立支援盛り込む障害者計画に

問

幸田町障害者計画は、平成19年度から23年度までの5年を目標に、今年3月末まで策定が義務づけられている。素案は、特定疾患の難病患者支援などが不十分。計画に盛り込み自立支援の充実を求める。

- (1) 特定疾患受給者証の交付件数は。
- (2) 特定疾患見舞金支給事業の実施を。
- (3) バリアフリー対策の住宅改修費の引き上げを。
- (4) 障害者自立支援法は応益負担となる。1割負担軽減と食費負担補助を。
- (5) 総合福祉センターの拠点計画を。

難病患者支援を計画に入れる

福祉部長

(1) 受給者証の交付は117件である。



手狭な福祉授産所

- (2) 難病患者支援を計画に入れ、見舞金は取り組んでいく。
- (3) 平成18年度の申請は3件であり、引き続き20万円対応する。
- (4) 平成19年4月から自立支援法が多少緩和される。障害者年金の2級、月額
- (5) 障害者福祉センターとして位置づけ、今後の研究課題としていく。

名豊道路岡崎バイパスに期待

東西を結ぶ重要な幹線道路となる



長谷奥弘 議員

問 名豊道路岡崎バイパスは計画以来30数年、やっと3月26日開通となる。沿線住民は発展と活力ある地域となることを待ち望んでいる。

- (1) 沿線地域西南部の整備や開発の計画は。
- (2) 地域発展と活性化にバイパス利用の利便性や、自然の豊さなどを強調して各方面に幅広いPRを。
- (3) 名豊道路蒲郡バイパスの進行状況は。
- (4) 上六栗区内の道路対策は。

町長 (1) 自動車関連の中

小企業6社から開発、進出の申し出がある。

今後、水道の幹線を引き、西南地域7.5haに工業用地の開発をしていく。

- (2) 東西を結ぶ極めて重要な幹線道路であり、イベ



23号の開通を喜ぶ町民

ントなどをお願いしてい

建設部長

- (3) 芦谷ICから蒲郡境まで93%、蒲郡境

から蒲郡西ICまで92%、蒲郡西ICから蒲郡ICまで27%、それぞれの区間で用地取得。

道の駅が地域の活性化の核に

- (4) 本線工事に順次着手していく。
- (4) 交差点改良工事を完了後、信号設置をする。

問 名豊道路の幸田桐山IC、幸田須美IC間、下り線に道の駅が設けられる。

- (1) 道の駅「地域振興施設」の成功には、施設の公設でよしとせず、指導や対策面にも理解と援助を。
- (2) 道の駅の成功は、地域の活性化につながる。行政と受け入れ側、両方の意欲の高揚を望む。
- (3) 道の駅地域振興施設に女性パワーの引き出しを。

持続可能な施設としていく

町長

- (1) 5月か6月に、国のヒアリングに臨み、国庫補助の見通しをつけ、施設整備をする。
- (2) 関係者と受け入れ側の選考を進め、平成19年度中に実施設計、20年に建設をしていく。
- (3) あらゆる機会を通し地域の特産などPRできるように協議を重ね、多くの関係者が産直を含めて参加できるように調整、努力をする。
- (3) 生活改善グループなど女性の方にも参画していただき、持続可能な施設としていく。



伊藤宗次 議員

2人目半額全階層で3人目無料に 保育料の軽減に努める

問 子育て支援、少子化対策の重要な柱の一つ。

保育料減免・拡充で、2人目半額はD5階層から、保育料の安い上の子を半額にし、しかも、兄弟の一人が幼稚園、一人が町立保育園入所の場合、2人目でも半額としない「兄弟入所」条件を設けている。

少子化対策に反するもので、2人目半額は全階層で2人目を対象児とし「兄弟入所」条件の撤廃を。

3人目以降は無料とし、卒園まで無料にすることが子育て支援につながる。実施すべきだ。

福祉部長 厚労省の通達のとおり生まれ順で第1子、第2子という考え方に変えていく。

1人目が他の保育園、幼稚園に通っていても、2人目が町立保育園であれば、その子の保育料を半額にする。

3人目以降は、民間保育園、幼稚園も含め同時入所の場合は、保育料を無料にし軽減に努める。

“介護難民” つくりぬ 支援を

問 昨年4月、介護保険が改悪され「軽度者」とされる要支援1・2。要介護1

の人から「介護度が低い」として、介護保険で利用していた介護ベッド、車イス、ヘルパーやデイサービスが対象外とされ、用具などが取り上げられたが、その実態は。

レンタルや購入している。助成制度つくり支援を。要支援とされ、介護タクシー利用できず、「介護難民」をつくりだしている。町独自の支援や助成を。



無料貸し出しの福祉車両

個別に相談 を受けてい く

福祉部長 要介護1から要支援1、2への移動は、合計で22人である。6カ月の経過的措置が過ぎた昨年の10月からは、37件が利用できなくなっているが、医師の診断などによって適用が緩和される。

介護用具など自費でのレンタル料は、介護保険制度とはほぼ同額の1割負担であるため、購入を含め助成は考えていない。

介護タクシーは、タクシー料金が保険対象ではなく、乗降介助が対象である。1人で乗降できない状況であれば、認定の見直しを考えると、個別に相談を受けていく。

委員会レポート

総務

事故多発交差点に 信号機設置を

・2月27日協議会開催

交通・防犯・防災等、固定資産評価審査決定処分取消訴訟、平成17年度岡崎市額田郡模範造林組合一般会計決算および平成18年消防統計についてが、主な議題でした。

Q 長年、地元要望している交通事故多発の交差点

への信号機設置は。

A 警察により総合的な設置箇所の調整がこなわれている。現地在を再確認し、緊急性や優先順位を考慮して、強く要請する。
Q 本町は、町の中心部が暗い、歩車道の区分など安全対策に縦割り行政の弊害があるのでは。



アップダウンの多い県道美合幸田線

産業建設

西三河農業共済組合 を再編整備

・2月15日協議会開催

Q なぜ農業共済組合を合併し広域化するのか。

A 農業共済事業の安定化を図るため、岡崎額田、衣浦東部、西尾幡豆、豊田三好の各地区4組合を合併する。

さらに財務基盤の強化を図るため、組織体制の合理化、運営の効率化をめざし、新たに建物共済事業収入を取り入れる。

Q なぜ民営化するのか。

A 三位一体改革で国からの補助金が民営でないとは交付されず、農業共済を

取り巻く状況の変化への対応のため。

Q 農家負担金が各組合で保険金に差があり、差額がでるが差額は誰が払うのか。

A 岡崎額田地区の保険金は特に4組合の中でも安く、この差額は当分の間それぞれの市町で負担をしていく。

Q 農業共済組合の事務所はどこに置くのか。

A 事務所は、安城市内で詰所を吉良町と豊田市内に置く予定。



栽培が盛んな幸田のハウスなす

文教福祉

火災警報器の

取付支援

・2月14日協議会開催

Q 住宅用火災警報器取付支援事業とは。

A 75歳以上の高齢者のみ世帯、重度の障害者・要介護3以上の住宅用火災警報器の設置に対して、2台まで7000円を限度に費用の2分の1の助成をおこなう。取り付けは、町の指定業者がおこなう。

Q 対象者の人数、指定事業者は何社か。

A 対象者は、約1200人でその内1割の方の申請を見込んでいる。指定事業者は2社程度を考えている。

Q 特に高齢者、寝たきり、障害者が被害に遭うことが多いので、周知徹底が必要である。周知方法はどうにするか。



取り付けられた家庭用火災警報器

A 広報や在宅介護支援センター、ケアマネージャー、民生委員、障害

者団体などを通じて、周知徹底をはかっていく。

いっぱん質問
その後

追跡

あの答弁は
どうなったの!

議員研修会

議会では、研修を通じて議員としての識見をさらに高め、資質の向上と相互の交流を深めるため、いくつかの広域的な連絡協議会を組織し、研修会を実施して

います。

1月29日、額田郡町村会・町村議会議長会合同研修会が本庁舎4階ホールで開催され、コリア・リポート編集長・辺真一氏の「最

近の朝鮮半島事情」と題する講演を聞きました。これらの研修は、今後の議員活動に有益なものとなりました。



拡幅された光明寺川堤防道路

answer

左岸の農道を拡幅し、植樹で景観づくり。

question

光明寺川を癒しの川に。

平成17年9月定例会
羽根淵保博議員

その後
afterward

葵桜の植樹など、町民会館周辺の景観をよくするため、農道の拡幅が計画され、地権者の協力により、部分的な工事が完了した。また、親水ゾーンの浄化対策としては、木製の堰が設置された。



癒^{いや}される町



【鷲田区】
かとうれいこ
加藤鈴子さん

数カ月前に結婚して幸田町民となりました。初めて役場へ行き婚姻届、色々な手続きをした時、窓口の女性の方が親切に対応して下さり、とても印象が良かったです。

ハピネス・ヒル・幸田もよく利用させてもらいますが色々な施設があり掃除も行き届いてますし、四季折々の自然もきれいで素敵なお所ですね。スタッフの方皆さん感じが良くいつも気持ちよく利用しています。

幸田町には親戚や友人、知り合いがたくさんいますが、これからの出会い、人とのつながり、ふれあいを大切にして新しい町で楽しく過ごしていきたいと思っています。

そして、この幸田という環境の中で夫婦二人がずっと夢だった癒される店をだしたいと思います。

幸田町の人たちの様な、ほのぼのする様な、「ほっ」とする様な、「やさしい甘さ」をとどけられたらいいなと思っています。

ずっと癒される町であってほしいと思っています。

議会だより全国コンクール

奨励賞の
快挙
5年ぶり

平成18年5月1日発行の「議会だより、120号」が見事、奨励賞に入賞しました。
今回のコンクールには、全国の町村議会から204誌の応募があり、その中で20誌が最優秀賞をはじめ、奨励賞に選ばれました。
今後も、編集委員一同さらなる飛躍をめざして、努力をしてまいります。



編集後記



桜の季節は過ぎましたが、1年中で一番暮しやすいうち5月であります。
学校、社会への新1年生も早1カ月が経ち、希望に満ちた日々を過していると思います。ンガンバレ新1年生。

(笹野康男)

議長 大須賀好夫
副議長 笹野 康男
委員 鈴木三津男
委員 丸山千代子
委員 羽根渕保博
委員 足立 嘉之
委員 村越 茂之
委員 水野千代子

今号が最後の編集になりました。議会広報が、町民と議会の架橋になるよう頑張っています。今後とも町民皆様のご意

あなたも議会を 傍聴してみませんか

6月定例会、本会議の予定です。

- 会期の日程
6月 6日(水) 開会、議案の説明
11日(月) 一般質問
12日(火) 一般質問
14日(水) 議案の質疑
25日(月) 討論、採決、閉会
- 場 所 役場5階 議場
- 時 間 午前9時から
- ◎詳しくは議会事務局へ
☎63-5151(直通)